



TRADERS HOLDINGS CO., LTD.

2023年3月期第1四半期 決算説明資料

トレーダーズホールディングス株式会社

証券コード：8704

01 事業概要

02 2023年3月期 第1四半期 業績ハイライト

03 事業施策

04 APPENDIX



TRADERS HOLDINGS CO., LTD.

事業概要

Create the New Values

新たな価値を創造し続ける

- 1 新たなサービスにより生まれる価値
- 2 投資機会をもっと身近なものとし、投資によって得られる価値
- 3 株主・取引先など、関係する皆様と共に成長し得られる価値

1999年の創業来、個人投資家向けに最先端の金融デリバティブ取引サービスを提供するリーディング・カンパニーとなることを目指して成長を遂げて来た実績と、高いノウハウによる安定性と豊富な実績を誇るシステム開発能力で、多くの方にご支持いただけるサービスを構築してまいりました。

スピード感あるサービス提供及びシステムの開発体制を原動力とし、新たな金融サービスの創出、協業先との連携をさらに強固に推し進め、更なる価値を創造してまいります。

Our Business

金融サービス

「顧客第一主義」のサービス展開

FX取引サービス、暗号資産CFD取引サービス、システムトレードサービス、バイナリーオプションサービスなど、デリバティブ取引サービスを展開。

お客様に最高の取引環境を提供すべく、日々進化を続けています。



ITテクノロジーサービス

ワンストップで進化し続けるシステムを提供

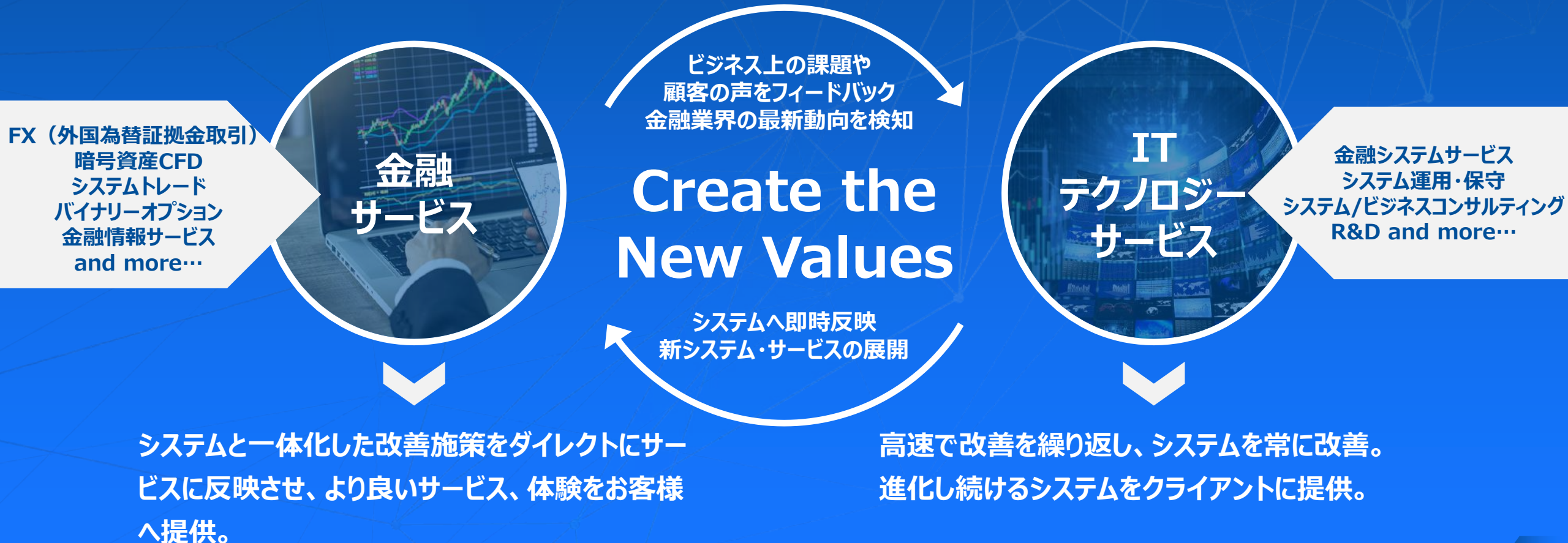
FXシステムから暗号資産取引所、暗号資産CFDシステムや、顧客管理、データ分析、AIソリューションなど幅広いシステムを開発・提供。

成熟した開発プロセス及び豊富な金融システム開発実績で、ワンストップで進化し続けるシステムを提供しております。



Core Competence

金融事業とITテクノロジーサービスをグループの中核事業として展開。
それぞれの事業が連携し、早期に問題抽出・分析・改善が行える体制を構築することにより、
事業シナジーを生み出しています。



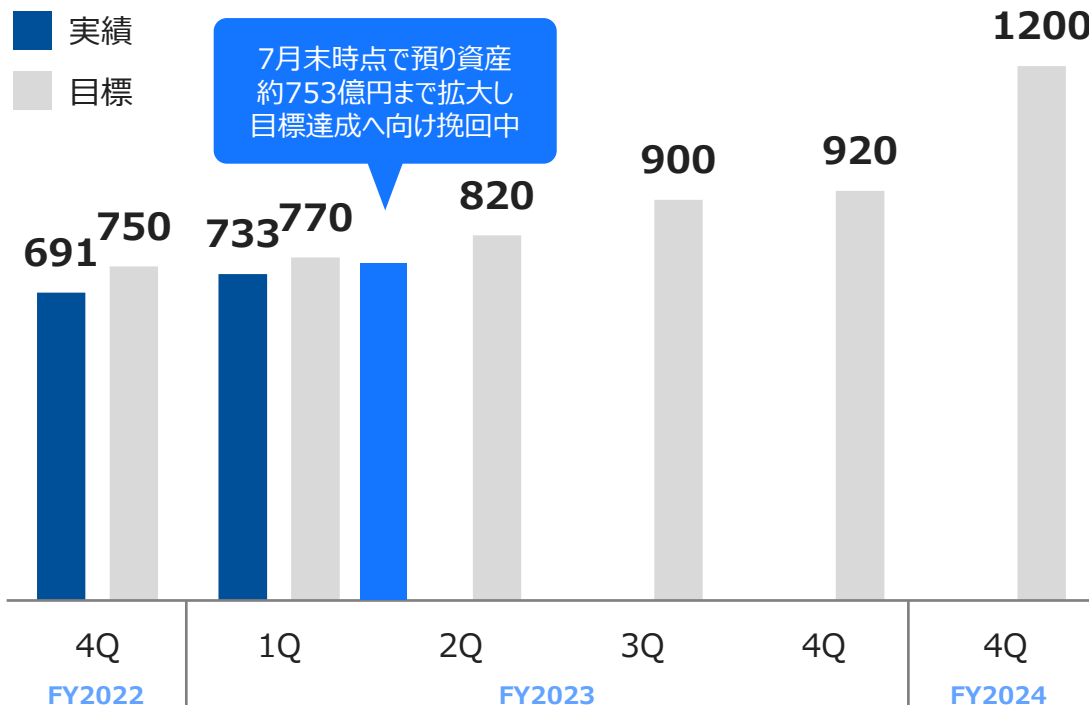
中期経営計画進捗状況

顧客預り資産倍増計画

中期経営計画における預り資産の目標に対しての取り組み状況

顧客預り資産

(単位：億円)



中期経営計画

2024年3月期 1200億円

前期は目標750億円に対して691億円と未達
 今期目標を950億円から920億円へ修正し、施策の見直しを実行

集客の軸足を暗号資産から追い風のある**FX**へシフトし、
TVCMや**交通広告**等による**認知向上**及び、
獲得広告の**強化**を実施。
 一部施策は準備中だが、1Qで**733億円**まで**預り**を拡大。



中期経営計画進捗状況

将来の成長を見据えた人員体制の拡充

システム開発競争の勝者が覇権を握る！～業界の勝者となるために必要な先行投資を実施～

システム子会社人員数



当社グループ人員は、
3分の2がシステム開発関連

全グループ従業員約300名のうち、
約200名がシステム開発関連に従事

開発体制の大幅増強と
新たなシステムの拡充を目指す
重点施策を実行中！

優秀人材の安定的な確保の為、様々な施策を実行中

- 採用強化に不可欠である採用サイトの構築
- 本社移転による働きやすい環境構築を計画

システム子会社
人員数

約210名
(2022年6月時点)



TRADERS HOLDINGS CO., LTD.

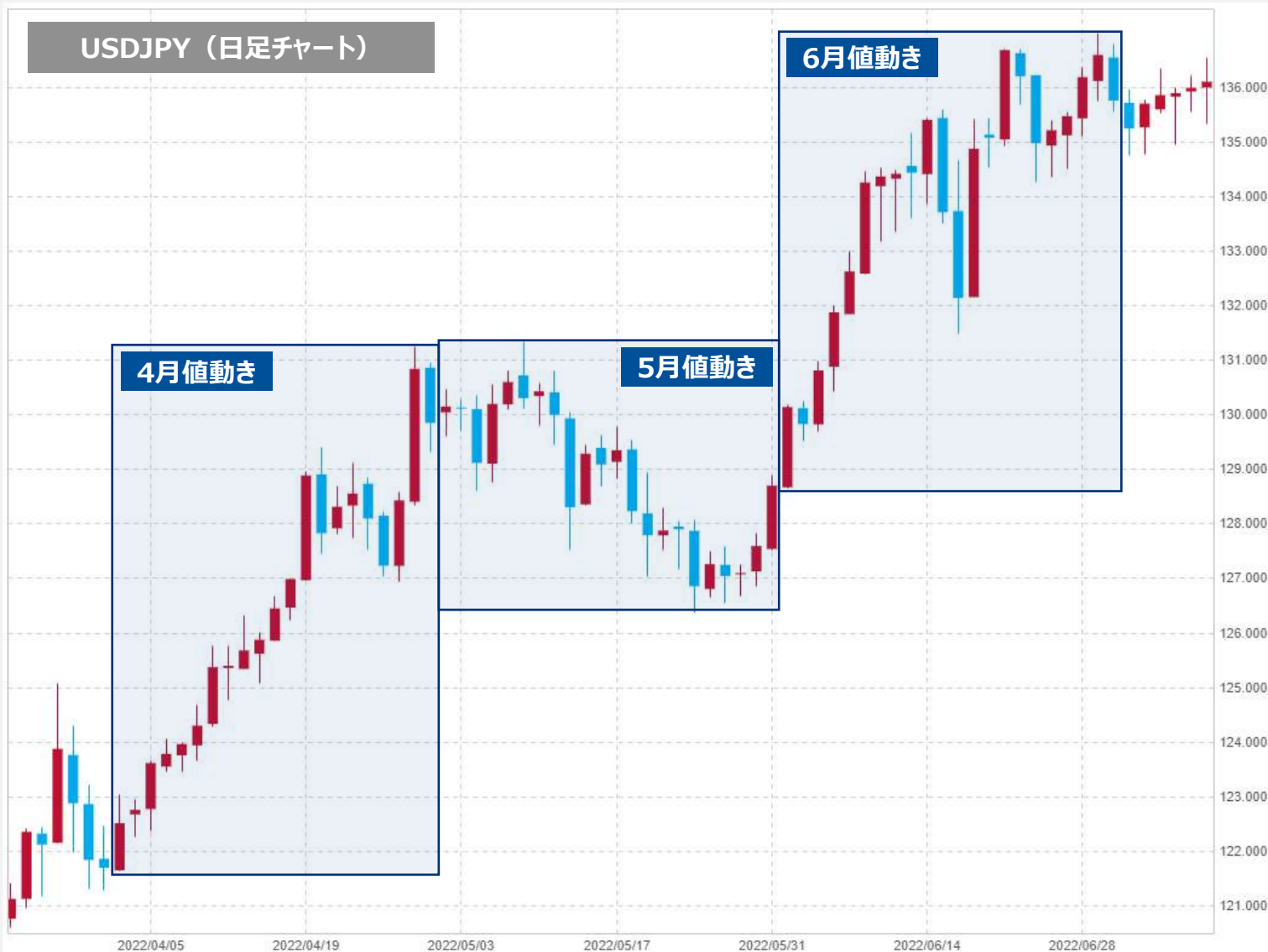
2023年3月期 第1四半期 業績ハイライト



米国の利上げ等を背景とした記録的な円安傾向によりFX市場が活況となり、
対前年同期比で**大幅な増収増益を達成**しました。

		前年同期	前年同期比
営業収益	2,397 (百万円)	1,553 (百万円)	+54% 
経常利益	1,102 (百万円)	469 (百万円)	+135% 
四半期純利益	951 (百万円)	540 (百万円)	+76% 

USDJPY（日足チャート）



市況概況

第一四半期は歴史的な円安局面となり、ドル円は上半期の騰落率が17.9%と変動相場後では過去最高を記録。



当社第一四半期における過去最高益を達成

当第1四半期は、四半期ベースでは過去最高の営業収益、経常利益、四半期純利益を計上しました。

(単位：百万円)

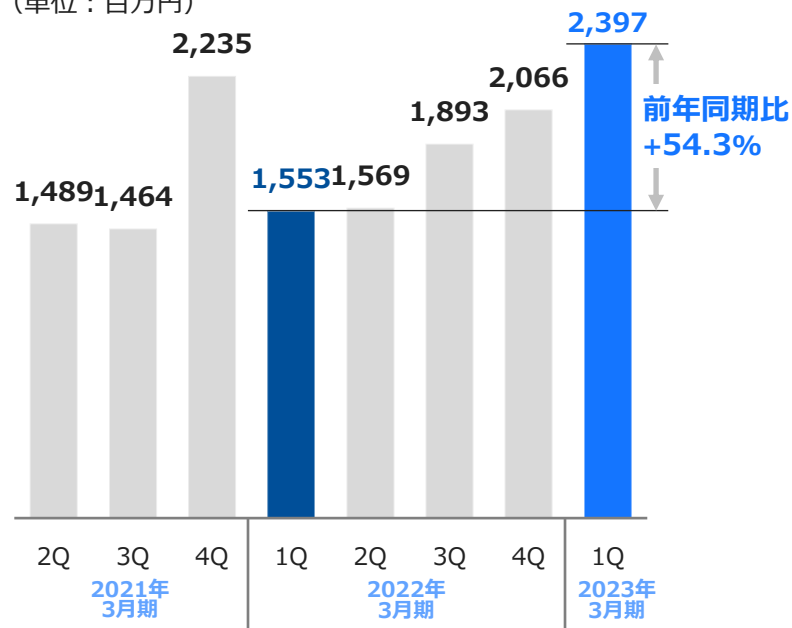
	2022年3月期				2023年3月期	前年同期比
	1Q (2021年4-6月)	2Q (2021年7-9月)	3Q (2021年10-12月)	4Q (2022年1-3月)	1Q (2022年4-6月)	
営業収益	1,553 (100%)	1,569 (100%)	1,893 (100%)	2,066 (100%)	2,397 (100%)	+54.3%
純営業収益	1,457 (93.8%)	1,458 (92.9%)	1,753 (92.6%)	1,903 (92.1%)	2,229 (93.0%)	+53.0%
営業利益	472 (30.4%)	449 (28.6%)	783 (41.3%)	666 (32.2%)	1,108 (46.2%)	+134.7%
経常利益	469 (30.2%)	458 (29.1%)	774 (40.9%)	657 (31.8%)	1,102 (46.0%)	+134.9%
四半期純利益	540 (34.8%)	425 (27.0%)	751 (39.7%)	471 (22.8%)	951 (39.7%)	+76.0%

(注) 本資料のカッコ内の%は、営業収益に対する割合を表示しております。

四半期連結業績推移（グラフ）

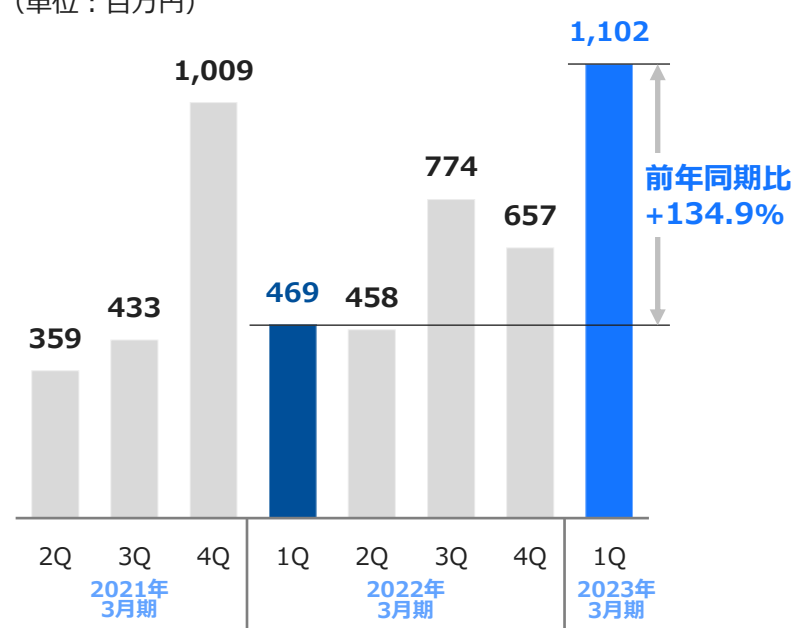
営業収益

（単位：百万円）



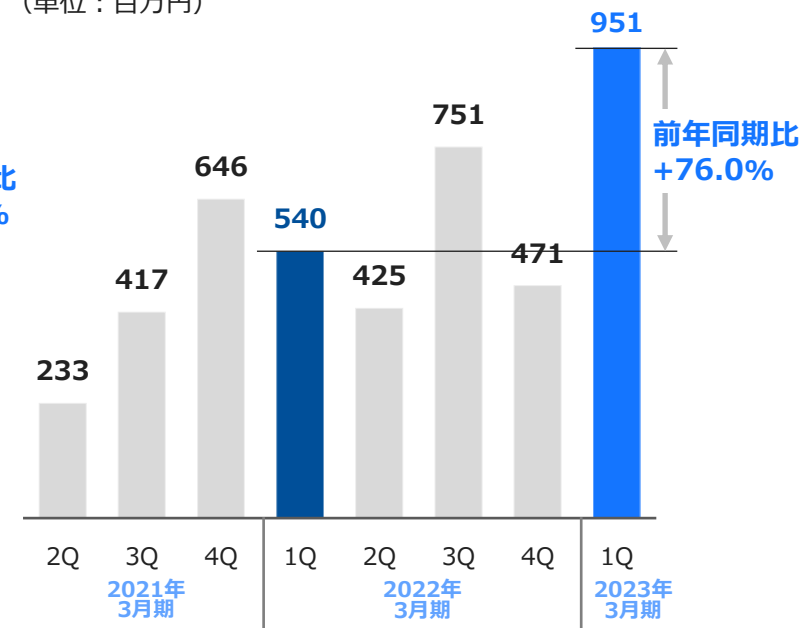
経常利益

（単位：百万円）



四半期純利益

（単位：百万円）



大幅な増収要因

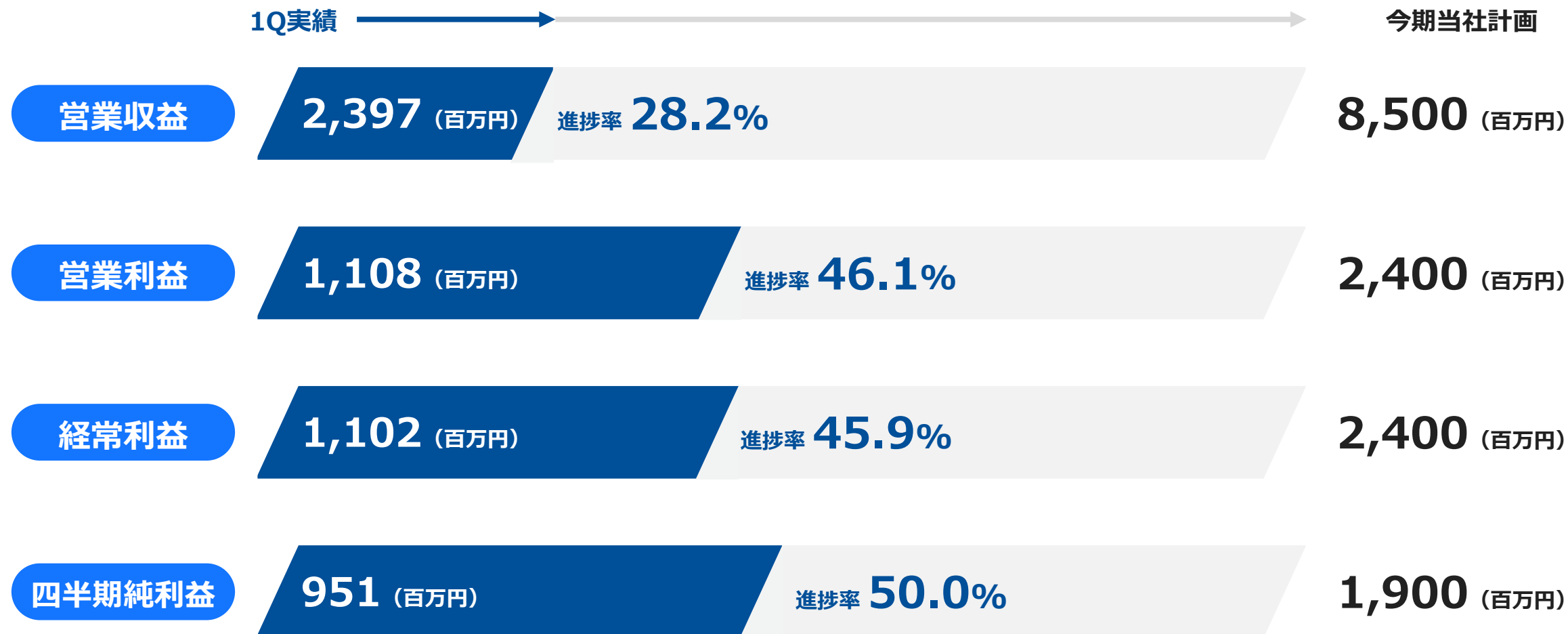
前第1四半期末の預り資産は691億円であったのに対し、当第1四半期末の預り資産の平均は733億円となり、前年同期比で42億円増加しました。このように、好調な預り資産の積み上がりを達成した結果、ベースとなる取引自体が増加しました。そこに、歴史的な円安局面となり、ドル円は上半期の騰落率が17.9%と変動相場後では過去最高を記録し市場が大幅な活況となった結果、さらに取引量が膨らみ、四半期ベースで過去最高収益を計上しました。

大幅な増益要因

当社グループで発生する経費のうち固定費の割合が約8割を占めるため、増収による増益効果が大きくなりました。グループ通算制度による税負担の軽減により法人税等の負担率が法定実効税率よりも低く収まっている結果、売上高純利益率は約40%となり、四半期利益は対前年同期比で76%増となりました。

2023年3月期計画に対する1Q実績

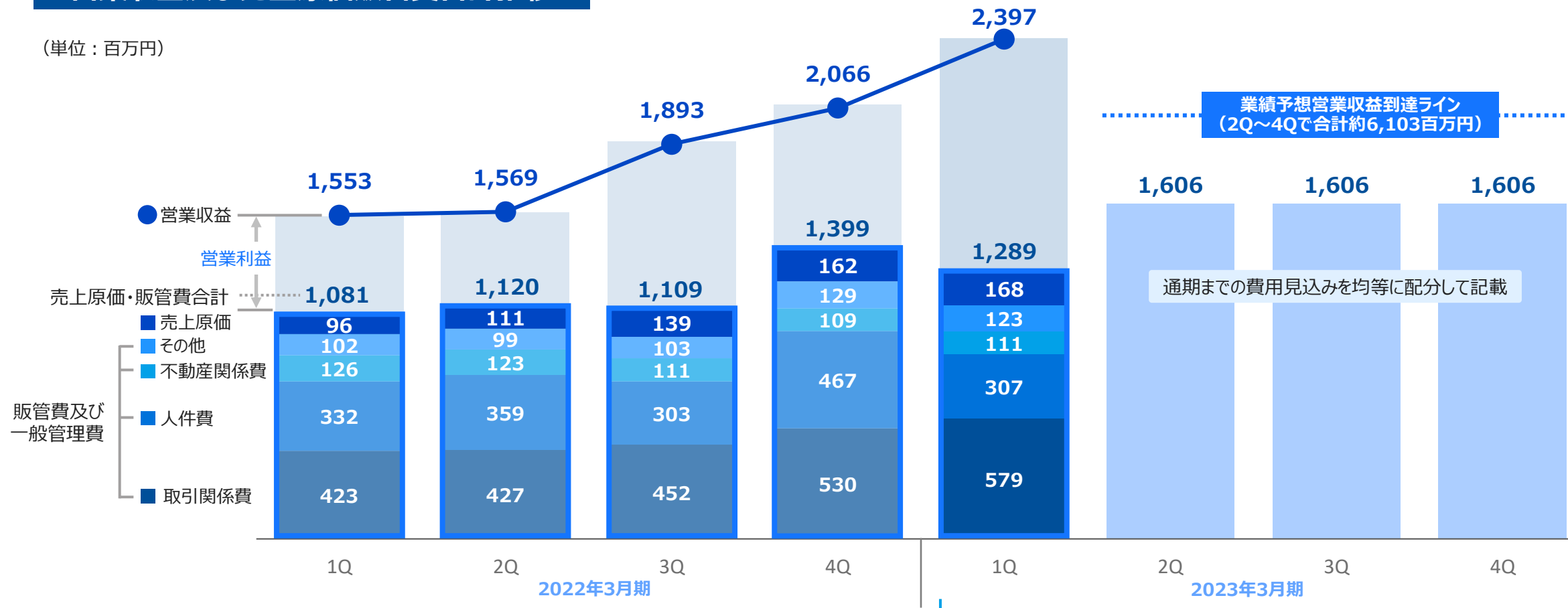
2023年3月期第1四半期の好調な市場環境に後押しされ、大幅に利益を伸長させた結果、四半期純利益ベースで今期計画の50%の進捗を達成し、2023年3月期当初計画の達成に向けて好スタートを切ることができました。



通期業績予想に対する進捗状況に関する補足説明

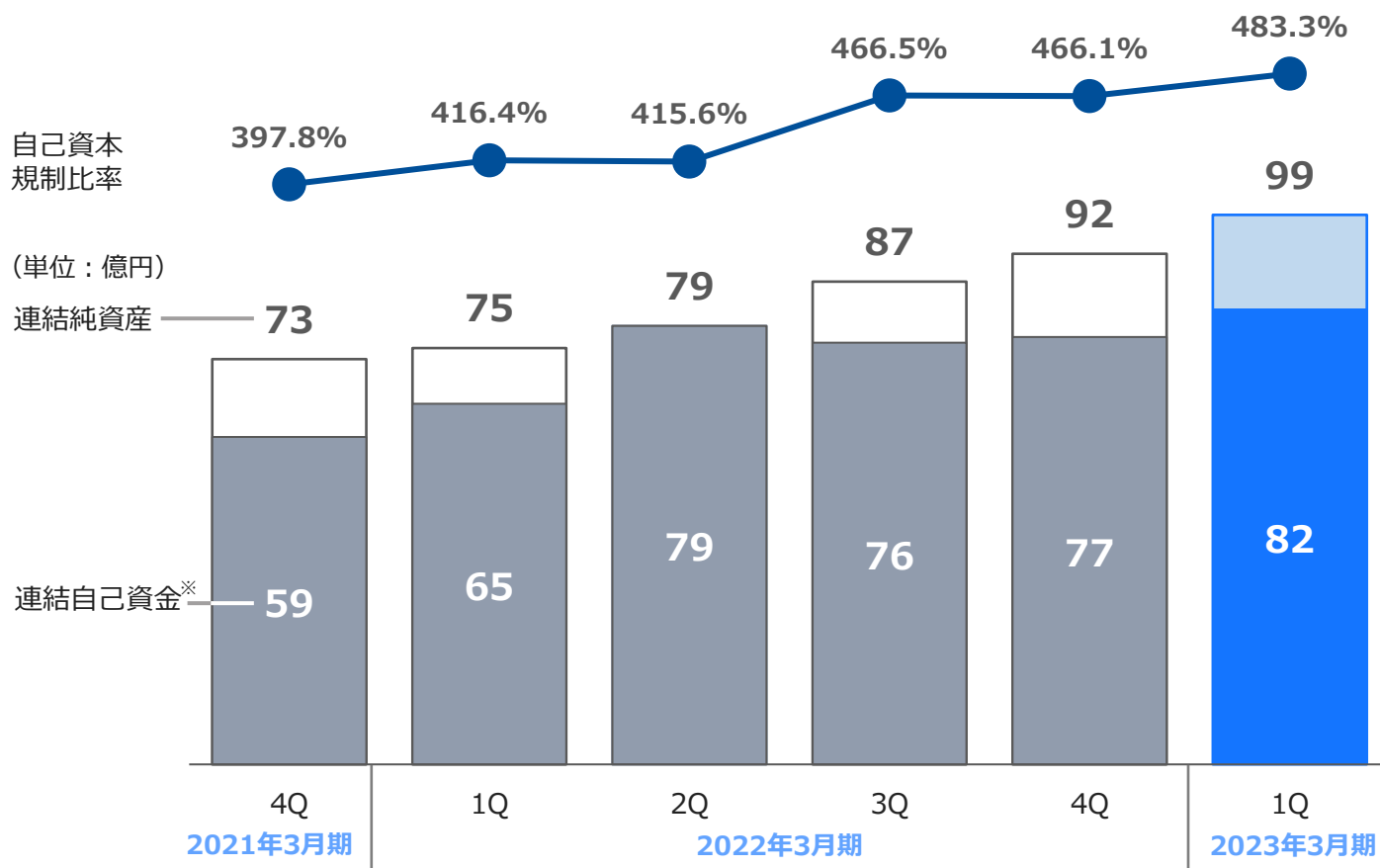
営業収益及び売上原価販管費合計推移

(単位：百万円)



2023年3月期 1Qの販売費及び一般管理費は、広告費、採用関連費、器具備品費の一部の支出月が2Q以降となった影響が主因で、計画より約102百万円減少しましたが、2023年3月期 2Q以降に計上される見込み。

連結純資産



※連結自己資金 = 連結現金預金 + 外国為替差入証拠金 - 有利子負債
(資金のうち顧客分別金を除いた当社グループに帰属する短期の自己資金)

連結純資産の状況

金融事業は自己資本に関する各種の規制に服しているため、自己資本の充実度合が店頭デリバティブにおける収益力に直結

事業規模（顧客からの預り証拠金）が大きくなり必要自己資本が増加する一方、毎四半期毎に利益を着実に積み上げ、自己資本は順調に増強

連結自己資金の状況

事業規模の拡大によりカバー先金融機関へのカバー取引証拠金、受払い決済に必要な待機資金が増加する一方、自己資金は着実に増加し安全性が改善



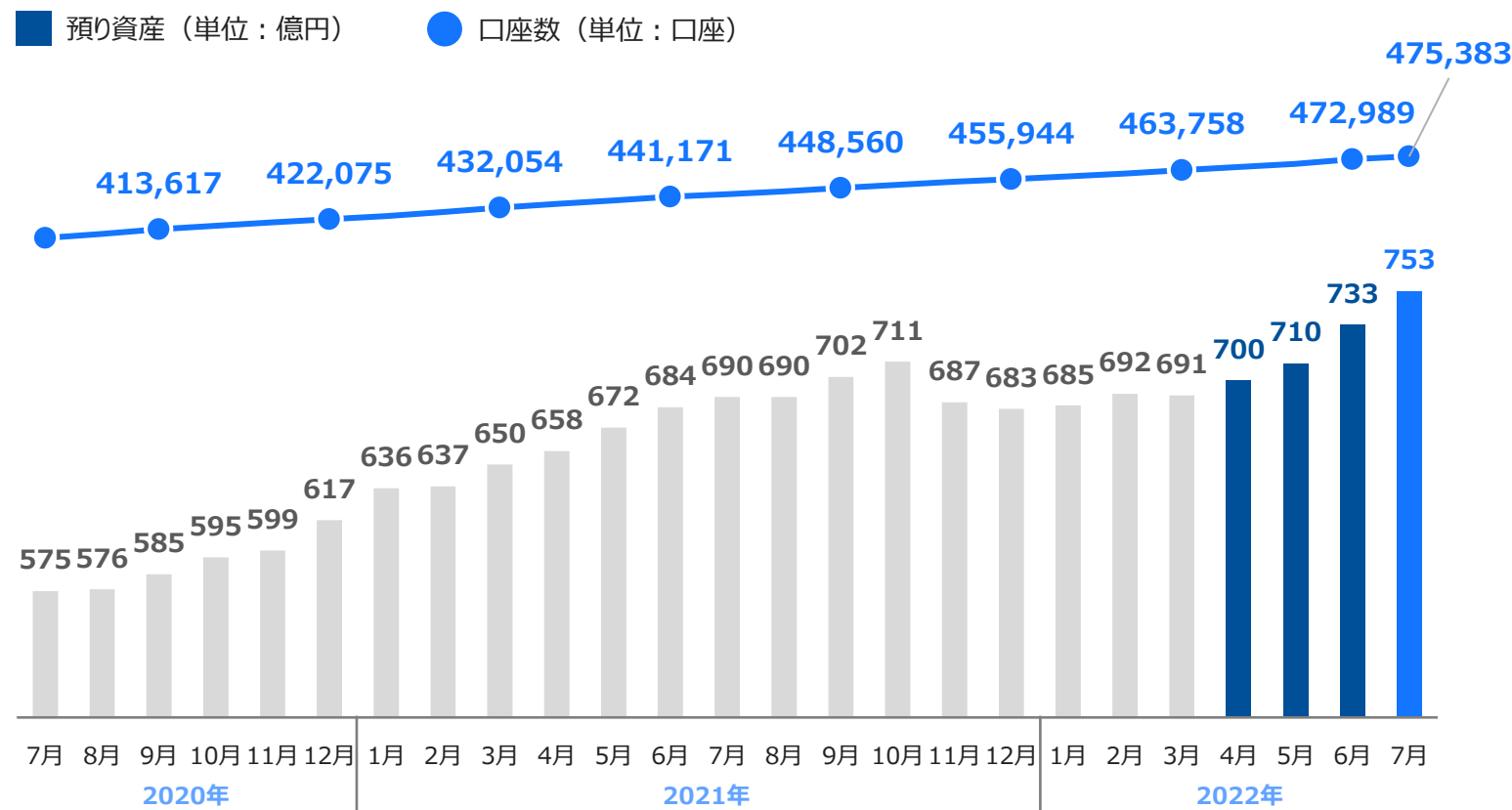
TRADERS HOLDINGS CO., LTD.

事業施策

3月以降、持続的に大幅な円安相場が続き、新規口座獲得及び預り資産の増加につながっている事に加え、ポジションを取りやすい相場状況である為、既存顧客の追加入金による預り資産の増加につながっている。

口座数は増加を続けており預り資産も増加傾向にあり、収益を生み出す土台が着実に作られている。

預り資産・口座数推移



前期2021年10月までは計画を上回り順調であったが、11月12月のトルコリラ暴落の影響を受け711億円から683億円と大きく預り資産を減少。12月を底に持ち直し、3月末時点で691億円となった。

4月より口座数増加施策として資源国通貨・高金利通貨キャッシュバックキャンペーンの実施や、預り資産増加施策として取引スタート応援キャンペーンを実施したほか、5月より高金利通貨の商品スペックの見直しを実施し、更に6月よりWEBセミナーを実施し包括的にマーケティングを強化。

新規の獲得と純増が増加し預り資産の拡大を図った結果口座申込数、預り資産が増加し顧客基盤が拡大した。

集客拡大及び既存顧客のエンゲージメント向上の為、様々な施策を展開しております。

≫ 「みんかぶFX」の年間ランキングにおいて、2部門で1位を獲得しました

株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドの運営する「みんかぶFX」が発表したFX会社比較における2022年の年間ランキングにおいて、総合部門、スワップ部門にて1位を獲得しました。「みんなのFX」は総合部門にて、「LIGHT FX」はスワップ部門にてそれぞれ1位を獲得しております。

「みんなのFX」では「スプレッド業界最狭水準宣言」のもと、主要6通貨ペアにおいて業界最狭水準のスプレッドを提供しております。「LIGHT FX」では3年連続でスワップ部門第1位を受賞しており、常に高水準のスワップを提供しております。



≫ 「みんなのFX」TVCMを開始しました

「みんなのFX」のイメージキャラクターにタレントの川栄李奈さんを2021年7月起用したTVCM『これだから人生は楽しい。』を2022年7月より全国放送にて開始しております。2015年女優としての活動を本格化し、いまや数多くのテレビドラマや映画に出演する女優、川栄李奈さん。新しい挑戦をテーマに、川栄さんがいま一番やってみたかったと言うスケートボードに挑戦し、人生の楽しさを表現しております。



▶▶ TradingViewアプリ版をリリース！

人気のチャートツールである「TradingView（トレーディングビュー）」のアプリ版をリリースいたしました。
これまでPC版取引ツール「FXトレーダー」からのみご利用可能だった「TradingView」が、アプリ版取引ツール「FXトレーダーアプリ版」でもご利用が可能になりました。

▶▶ 当社為替ディーラー井口の著書「勝者のトレード」が発売

当社為替ディーラー井口の著書「勝者のトレード」を発売いたしました。
当社は金融経済教育の重要性をSDGsの観点から考え、あらゆる人々が持続可能なライフスタイルを送るための知識やスキルを習得できるような取組みを掲げており、投資をこれから始める方はもちろん、すでに始めているがなかなか結果が出ない方に向けて正しい投資のスキルを身に付けていただく為、長年為替ディーラーとして培ってきたノウハウをまとめております。
また、売れ行きも好評にて増版も決定しております。



≫ 業界No1*のSNS登録者数を活かした情報配信力

Twitterフォロワー数、Line友だち数、Youtubeチャンネル登録者数など、業界トップ又はトップクラスの情報配信力を誇る公式アカウントを活用し、投資に役立つ情報配信や、お得なキャンペーン情報の配信など、顧客との接点を増やし認知拡大及び顧客エンゲージメント向上につなげております。

引き続き、当社の情報発信力を活かした施策を実施してまいります。

*当社調べ：Twitter 12.2万フォロワー Youtube 2.27万人登録 Line友だち 1.68万人



≫ スワップNo1チャレンジや資源国・高金利通貨キャンペーンなど、魅力的なキャンペーンを引き続き継続

お客様に大変ご好評いただいているキャンペーンを継続して実施。

さらに新規顧客獲得の為、ユーザー様からご評価いただいている資源国・高金利通貨に関連するキャンペーンを実施。

ユーザーニーズに合わせたキャンペーン展開で、既存のお客様、新規のお客様それぞれに効果的なキャンペーンを実施し、新規顧客流入の拡大及び、LTVの向上に努めております。



スワップNo.1チャレンジ※
キャンペーン第13弾

期間：2022年6月1日～2022年7月29日
※新規建玉が対象です。

キャンペーン適用買いスワップ（キャッシュバック上乗せ分含む）※建玉の7割は2022年7月11日の実績です。

通貨ペア	10Lotあたり
南アフリカランド / 円	150円
メキシコペソ / 円	165円
トルコリラ / 円	297円

他社よりもスワップが1円でも安い場合、**差額をキャッシュバック！**



新規のお客様限定 2022年7月4日(月)～2022年9月30日(金)

資源国・高金利通貨キャンペーン

対象通貨ペア1回の新規お取引量10Lot以上で

もれなく最大**3,000円** キャッシュバック



PlayStation®5が当たる!! /

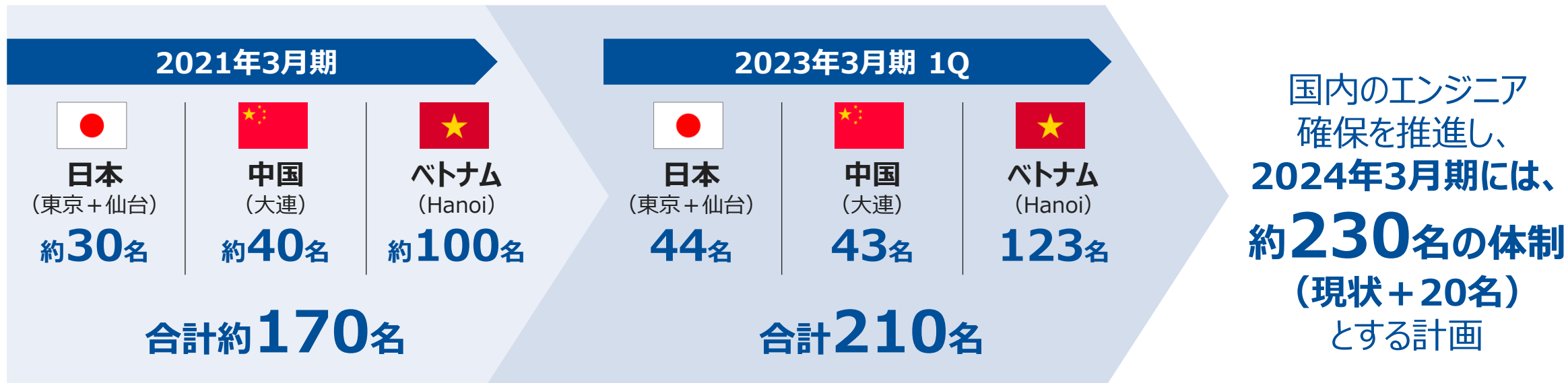
豪華賞品
プレゼントキャンペーン

キャンペーン期間 2022年7月11日(金)～2022年8月31日(水)

©2022 Sony Interactive Entertainment Inc.

ITテクノロジーサービス（Nextop.Asia）の重点施策

開発能力の向上、堅牢なシステムの維持、新サービス等の新規システム開発能力の拡充を目的とし、システム開発人員の増強を行っております。



日本での開発人材の拡充を一層推進し、日本、中国、ベトナム3拠点での開発能力の向上を目指します。

また当社の強みでもある長年の金融システム開発における高速システム開発能力及び高い可用性、堅牢性、継続性を備えたシステム構築能力を活かしつつ、より素早い開発体制の構築、3拠点間の連携によるシステム安定性の担保、プロダクトドリブンな開発体制の構築を行ってまいります。

3拠点システム開発体制



プロダクトドリブンな開発体制



高い可用性・堅牢性・継続性



TRADERS HOLDINGS CO., LTD.

APPENDIX

本社移転による採用力の向上とオフィス環境の高機能化

当社グループは、最近の事業拡大における人員増加（有能な人財確保）と今後のさらなるグループの成長・働き方改革によるオフィス環境の高機能化（DX化の徹底による業務効率性の向上）を図るため、オフィス移転を予定しています！！

移転先

恵比寿ガーデンプレイスタワー
28階

移転時期

2023年上期（予定）
（※正式日程は決まり次第、お知らせいたします。）



※オフィス写真はイメージです。

本社移転を機に、より一層のワークスタイルの改革に取り組み、社員のモチベーションの向上や働きやすい環境を整備し、持続可能な組織を目指します。

Sustainability Policy

トレイダーズグループの考えるサステナビリティ

わたしたちトレイダーズグループは、「金融サービスを通じて、社会・経済の発展に貢献する」との経営理念を掲げています。

これまで、わたしたちは様々なステークホルダー、すなわち株主、投資家、お客様、お取引先、社員、関係諸機関等と適切に協働し、もしくは支援を得ながら、企業として少しずつ成長の道を歩んでまいりました。当社グループは、上場会社として、また、様々な事業を営む企業体として、自己の利益だけを追求することなく、これからも、金融商品取引事業とシステム開発コンサルティング事業のそれぞれの活動そのものの中で、長期的に社会や環境に貢献しうるマテリアリティへの取り組みを進めてまいります。

今後、当社グループの成長をけん引するために、ステークホルダーとの協働により、社会的価値と経済的価値を向上させ、または、創造する取り組みを推進することこそが、社会や環境面におけるサステナビリティを巡る諸課題に対する、わたしたちの義務と責任であり、使命であると考えています。

環境的な課題の解決のために

企業活動を通じて負荷をかける地球環境問題に対する、企業としての取り組み（環境負荷の低減）の実践と継続

社内ペーパーレスの推進【森林資源の保護】



社内業務に関して、紙の消費量を削減する取り組みを推進しています。当社グループでは、会議時のペーパーレス化（タブレット端末・ノートPCを用いた電子会議、インターネット会議の促進）や業務用書式の電子化（押印手続き廃止）、業務作業の自動化ロボット対応化（RPAの導入による業務効率化）を図り、森林資源の保護を通じた温室効果ガス削減（CO₂削減）に貢献しています。また、契約書の全社的な電子化の推進（拡充）にも努めています。

消費電力（使用量）の削減（抑制）【省エネルギーの推進】



当社グループの主軸事業である金融商品取引事業は、顧客がインターネットを通じて取引を行うサービス形態であり、インターネット関連設備やシステム開発・保守運用のためのパソコン機器等、安定的なサービス提供やシステム稼働のために、電力を多く消費する事業構造となっています。消費電力の削減を通じた省エネルギー化を推進するため、オフィス内においても、積極的に電力消費（エネルギー使用量）の削減、省エネPC機器への順次リプレイスに取り組んでいます。

社内におけるペットボトル利用の全面禁止



深刻化する海洋プラスチック問題の解決のため、社内会議や来客対応の飲料には、ペットボトル利用を全面禁止、ペットボトル自販機の撤去等、脱炭素社会や海洋生物・資源保護に向けた取り組みに協力しています。

本業を通じた環境問題に対する取り組み



現在、海外における小水力発電プラントの事業に関する投資ファンドを取り扱っており、今後も証券会社（金融ビジネス）の役割を活用した再生可能エネルギー等、地球環境の維持、持続可能な開発を支えるプロジェクト等を対象とした投資・金融サービスの提供等を目指し、検討を進めてまいります。

社会的な課題の解決のために

こどものみらい古本募金



内閣府等が主導する「子供の未来応援国民運動」の一環である「こどものみらい古本募金」（古本等を活用した寄付プログラム）に日本証券業協会が主導して証券業界全体で取り組みを始めており、当期からESG推進に係る具体的な取り組みの一つとして参加開始しました（同基金から子ども食堂や学習支援のNPO活動へ支援が行われています）。

金融リテラシー向上への取り組み



若年層・学生・女性等幅広い層への金融リテラシーの向上を目指した取り組みとして、「きんゆう女子。」主催のイベントに 트레이ダーズ証券の為替ディーラーを講師として派遣するなどの取り組みを進めており、また、書籍出版・寄稿等・SNSによる情報発信、多様な活動も実施しています。

グループ会社のサステナビリティの取り組みの詳細についてはこちら

トレーダーズ証券



Nextop.Asia



コーポレート・ガバナンスの高度化とより一層の充実に向けた取り組み

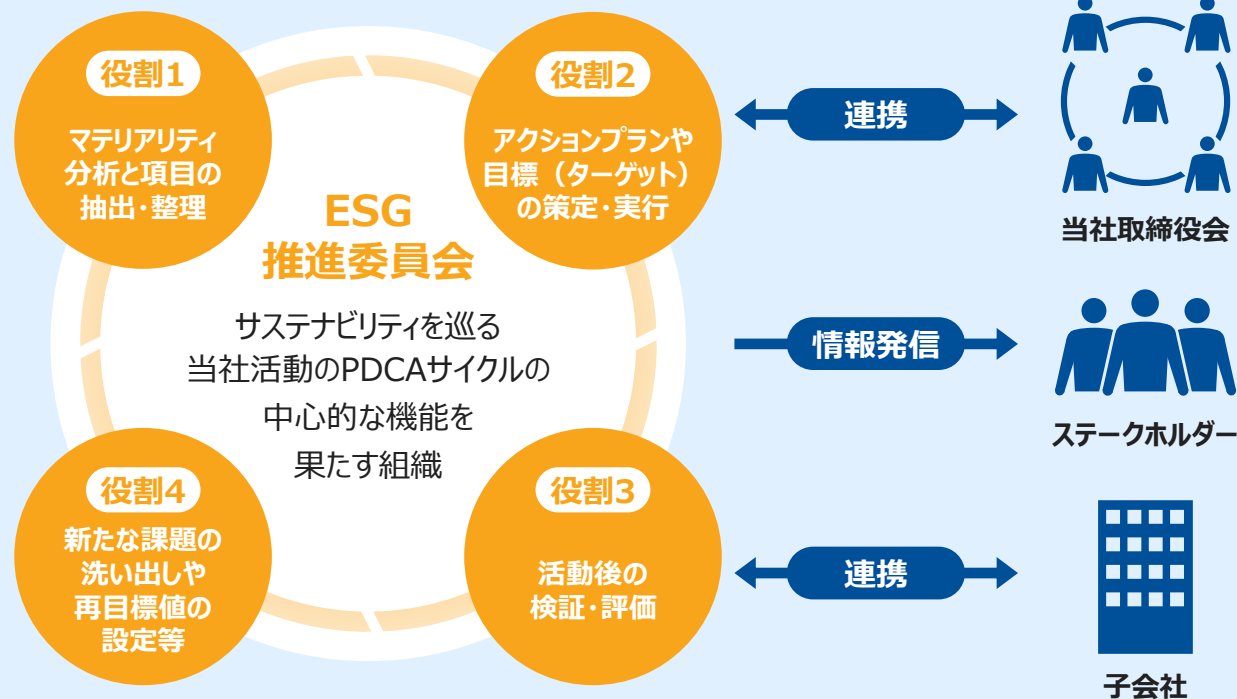
当社は、グループの持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指して、実効性あるコーポレート・ガバナンスのあり方を不断に追求し、構築・強化を進めています。当社コーポレートガバナンスの詳細、コーポレートガバナンスコードへの取り組み内容についてはWebサイトでご覧いただけます。



当社グループの マテリアリティ推進体制

当社グループでは、ESG推進委員会に各事業会社の代表取締役も含めて、グループ全体でサステナビリティ経営を推進（関連する事業や取り組みを実践）しています。

今後も事業活動を通じた社会的課題の解決や新たな価値創造を目標に、社会情勢や事業環境等を見極めながら、マテリアリティに沿った取り組み（評価を含む）をグループ全社で（部門横断的に）進めてまいります。



コーポレート・ガバナンスの高度化とより一層の充実に向けた取り組み

当社における東証「コーポレートガバナンス・コード」全原則のComply状況



(スタンダード市場区分選択前)
スタンダード市場移行のため、CGコード全面適用に向けた取り組みの本格化！

Complyに向けて当社が改善してきた主な事項！

ポイント1！

取締役会の実効性の強化や機能の拡充

ポイント2！

社外取締役や監査役の果たすべき役割・責務のより一層強化による経営プロセスの透明化

ポイント3！

サステナビリティ方針の確立とグループ全体でのESG活動の推進！

市場区分再編による移行前後で、Comply項目が大幅に増加！

(2022年4月：スタンダード市場に移行完了)
スタンダード市場移行後も、継続して、Comply項目への改善強化！

Complyに向けて当社が改善してきた主な事項！

ポイント1！

取締役会の構成に必要なスキルマトリックスの選定と公表

ポイント2！

取締役会の機能発揮のため、実効性評価の実施と結果の開示

ポイント3！

役員の報酬等の決定方針の透明化と株主目線に即した報酬体系の導入

今後も、引き続きComply項目を増やすべく、グループ内部管理体制の強化とコーポレートガバナンスの充実化に取り組んでまいります！

本資料に関する注意事項

当資料に掲載されている事業戦略や目標数値、見通し等の将来予想に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断した内容であり、実際の業績等の結果は、今後の経済情勢や事業環境、為替市場の動向等、様々な不確定要素その他リスク等に起因して、記述とは大きく異なる可能性があります。

また、マーケットシェアや市場規模等の数値について一部当社の推計値が含まれており、調査手法等によって異なる可能性があります。

本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に関するお問合せ

トレーダーズホールディングス株式会社
ir@tradershd.co.jp（IR担当）